



関係者各位

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より韓国文化観光促進のためご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現在新型コロナウイルスの感染拡大により、海外旅行が厳しい状況にございますが、韓国内では引き続き新型コロナウイルスに対する防疫を徹底して行っております。

そこでこの度、韓国の安全旅行を実施するためのガイドラインを作成致しましたので、お送りさせていただきます。

今後の韓国旅行に向けて、是非ご参考頂ければ幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

2020年7月3日

韓国観光公社 大阪支社
支社長 俣 敬 姫

新型コロナウイルス対応安全旅行 一般事項

新型コロナウイルス対策 安全旅行のための基本準備物

【旅行者】

マスク(余分含む)、手の消毒剤、個人用袋 など

【事業者】

マスク(従業員用含む)、手の消毒剤(従業員・顧客用)、体温計(従業員・顧客用)、消毒・防疫用品など

新型コロナウイルス対策 生活防疫 基本規則



体調が悪い時は
3～4 日間自宅にいる



ソーシャルディスタンス
を確保する



30 秒手洗い



咳は服の袖で覆う



1 日 2 回以上換気



定期的に消毒



距離は遠くても
気持ちは近くに

旅行中に新型コロナウイルスの症状がみられた場合

【旅行者】

- 発熱や呼吸器の症状(咳、のどの痛みなど)が出た場合、旅行を中断して即帰宅する
- 3～4 日間程、自宅で十分な休養を取り、症状の経過を見る
- 人と会うことをできる限り避け、自宅内では家族との接触も最小限にする
- 診療と休養後、症状がなくなれば日常に戻る。症状が悪くなった場合、管轄の保健所または 1339 番、市外局番 + 120 番に連絡をし、指示に従う

【事業者】

- 従業員が 37.5℃以上の発熱や呼吸器の症状(咳、のどの痛みなど)が見られた場合、すぐに退勤させる
- 職場内の感染状況に関して、管轄保健所または 1339 番へ連絡をし、指示に従う

安全旅行 共通事項

【旅行者】

- － 常時マスクを着用
- － 旅行中の活動前後に、石鹸などで 30 秒以上手洗いする
- － 手の消毒剤を使用する（出入口、共用施設などに触れた時は必須）
- － 消毒および防疫へ協力する（発熱および呼吸器症状の有無、身元確認など）
- － ソーシャルディスタンスの確保（座席を選択する時、移動中など）
- － 密閉した空間や密集地域へできる限り行かない
- － 公衆トイレなどの共用の空間や施設で長時間滞在しない
- － 握手やハグなど身体の接触はしない
- － 必要な時はハンカチ、スプーン・箸など自分専用の物を持つ
- － チケットなどを購入する場合、オンラインでの事前購入や自動券売機など無人の販売コーナーを利用する
- － 人から現金、クレジットカード、商品を受け渡す時は、手洗いか消毒をする
- － 店舗等での支払いは、できるだけ電子決済を利用する
- － 洗っていない手で目や鼻、口を触らない
- － 発熱、呼吸器の症状がある人との接触を避ける
- － 帰宅後、入浴と服の洗濯を行う

【事業者】

- － 防疫管理者の指定、事業場の形にあった防疫指針を立てる
- － 全従業員がマスクを着用する
- － 出勤時、勤務中に発熱の有無や症状を確認する
- － 感染が疑われる症状が出た従業員は即退勤する
- － 屋内空間を随時消毒する（従業員専用の空間も含む）
- － 1 日 2 回の換気を毎日行う（エアコン使用時にも徹底して行う）
- － 出入口および施設内に手の消毒剤を配置する
- － 手洗いができる場所と石鹸を準備する
- － 利用客との接触が多い従業員は、接触する度に衛生手袋を交換し、手の消毒を行う
- － 管理者の確認を含んだ防疫日誌を作成する
- － ソーシャルディスタンスを確保できるよう随時案内をし、入場人数を制限する
- － 防疫および消毒の状況や、症状がある人の入場制限等に関して事前に案内する

経路別注意事項

第1段階 移動手段

【旅行者】

自家用車

- 乗車前に手を消毒する
- 出発前にドアノブ、ハンドル、シフトレバー等の表面を消毒する
- 移動中は随時換気する
- できる限り空間の余裕があるところに駐車する

大衆交通

- 切符・チケットを購入の際は、できるだけオンラインまたは自動券売機を利用し、人と離れた座席を予約する
- 列車・高速バスを利用する際は、手を消毒した後に乗車、マスクを着用し、できるだけ会話を控える
- 船舶を利用する際は、ソーシャルディスタンスを保ち、移動時は他人と接触しないよう注意する

高速道路 SA

- 飲食店での注文や会計の際は、無人の注文機械(食券販売機)やアプリを利用する
- 対面で注文する際は、適当な距離を保ち、設置された消毒剤を使用する
- 共用施設等の使用は最小限にする
- ソーシャルディスタンスが保てる席で食事をする

【事業者】

大衆交通

- ノブなどは随時消毒し、定期的に防疫を実施する
- 運行前後は随時換気する
- エアコン使用時は、高速道路 SA や停留所など停車中に換気する
- 車両および船舶内では、大声での案内は控える
- 従業員間の不必要な会話は控える
- 必要に応じて、運行回数の縮小や乗車人数を制限する

高速道路 SA

- 無人の注文機械の使用を優先する
- ソーシャルディスタンスを保てるようテーブルと椅子を配置する
- 出入口は常に開けて換気を行う
- ドアノブなどは随時消毒する

第2段階 屋内での展示・体験

【旅行者】

屋内での展示(博物館・美術館・展示館など)

- －他の観覧者とソーシャルディスタンスを保つ
- －展示物の解説は、人による解説よりもオーディオガイドを利用する
- －作品および展示品に触れない
- －低層階へ移動する際は、エレベーターよりも階段を利用する
- －エスカレーター利用前後に、手を消毒する

体験(工芸・料理・楽器体験など)

- －他の参加者とソーシャルディスタンスを保つ
- －他の参加者と体験道具を一緒に使わない
- －体験道具の使用前後に手洗いか消毒を行う

【事業者】

屋内での展示(博物館・美術館・展示館など)

- －随時消毒を行い、頻繁に換気する
- －観覧客が一度に集まらないよう、観覧エリアや時間帯別に観覧人数を制限または動線を管理する
- －共用の飲料水台など感染の危険が考えられる設備の管理は徹底する
- －記念品販売店、カフェなどは随時消毒・管理する

体験(工芸・料理・楽器体験など)

- －体験空間は随時消毒し、常時換気する
- －体験実施前後、体験道具を消毒・管理する
- －事前予約制を導入し、参加者が集まらないよう調整する
- －参加者のテーブルや座席の間隔を調整し、透明の仕切りを設置する
- －参加者用の衛生手袋、手の消毒剤、蓋付きのごみ箱を配置する

第3段階 屋外の観光地・アクティビティ

【旅行者】

屋外観光地(名勝地・韓屋村など)

- －手の消毒剤を携帯する
- －観覧および移動時には、他の人とソーシャルディスタンスを保つ
- －食べ物を手にする前後は、手洗いまたは消毒を行う
- －多くの人が使用する共用物品や貸出品の使用は控える

アクティビティ(バンジージャンプ・ジップライン・パラグライダーなど)

- －施設の利用前後に、手を消毒する
- －ヘルメット等の安全装備を使う際も、マスクを着用する

【事業者】

屋外観光地(名勝地・韓屋村など)

- －トイレ等共用施設の消毒・防疫を徹底する
- －利用客の混雑時間帯を知らせ、分散利用へ誘導する
- －人が集まるところで、ソーシャルディスタンスを確保できる位置を標示する

アクティビティ(バンジージャンプ・ジップライン・パラグライダーなど)

- －安全装備や共用物品は随時消毒する
- －利用客が移動する動線など屋内外全ての施設を消毒する
- －体験後、ヘルメット等の安全装備や体験道具はすぐに消毒する

第4段階 飲食店

【旅行者】

食堂

- －できるだけ事前に予約をして利用する
- －昼食・夕食時間帯など混雑する時間帯を避ける
- －消毒、換気など衛生規則を守っている食堂を利用する
- －箸・スプーン入れなどを利用する際、衛生手袋や手の消毒剤を利用する
- －食事の前後に、手洗いか消毒を行う
- －会計の際、領収書はできるだけ破棄を要請する

カフェ

- －店内の利用客が多い場合、テイクアウトを利用する
- －他の利用客と隣り合わせでテーブルを利用しない
- －屋外にテーブルがある場合、利用する
- －カフェ利用前後に、手を消毒する

【事業者】

食堂

- －出入口はできる限り開けて、換気を行う
- －箸・スプーンは紙で包装する
- －箸・スプーン入れ等の共用物品の消毒を徹底する
- －テーブル・椅子・ドアノブなどよく触れられる部分は重点的に消毒する
- －待機客がいる場合、ソーシャルディスタンスを確保するように案内、また待機番号表を活用する
- －テーブル同士の間隔が十分になるよう調整する
- －生活防疫の必要性などに関して、定期的に従業員へ教育する

カフェ

- －利用客が密集しないよう、テイクアウトへ誘導する
- －注文や待機する時に、ソーシャルディスタンスを保つよう案内する
- －テーブル同士の間隔が十分になるよう調整する
- －多くの人が使用するマグカップ、皿、フォーク等の消毒・衛生管理を行う

第5段階 ショッピング

【旅行者】

大型ショッピングモール

- － 出入りする際、手の消毒剤を使用する
- － ドアノブなど多くの人が触るところは、できる限り触れないようにする
- － 混雑した時間帯と人が多い空間は避ける
- － 屋内空間に長時間滞在しない
- － オンラインで注文が可能な商品は、できるだけオンラインにて購入する
- － 商品を選ぶ際、また会計の際は他人とのソーシャルディスタンスを保つ
- － 化粧品を試す際は、顔や唇に直接つけず手の甲で試し、テスト後は手を消毒する
- － 会計の際は、できる限り電子決済を利用する

伝統市場

- － 大声で販売をする店舗や場所の利用を控える
- － マスク未着用の店舗は避ける
- － 商品を触ることは避け、できるだけ目で見るようにする
- － 商店内に長時間滞在しない

【事業者】

大型ショッピングモール

- － 可能な限り、出入口を開けて常時換気する
- － 多くの人が触れるドアノブなどは随時消毒する
- － 多くの人が集まるタイムセールや試食イベントなどは制限する
- － 試食や化粧品テストのコーナーは最小限にする
- － 会計の際、非接触決済の方法を推奨する

伝統市場

- － 市場全体を清潔に保つ
- － 定期的に防疫・消毒を行う
- － 大声での販売やイベントを控える
- － 商品情報の案内板や価格を掲示する
- － 多くの人が触るところは消毒する
- － 店舗ごとに手の消毒剤を配置する

第6段階 宿泊施設

【旅行者】

ホテル・コンドミニアムなどの宿泊施設

- － 出入りする際、手の消毒剤を使用する
- － エレベーターのボタンやドアノブ、スイッチ等を触った後は手を消毒する
- － 客室内は随時換気する
- － リモコンなど客室内の物を使った際は石鹼で手洗いする
- － サウナ、プールを使用する際はソーシャルディスタンスを確保し、ロッカールームなどの密閉空間では特に注意する
- － 施設内のレストランよりルームサービスを積極的に利用する
- － タオル、バスローブ等の施設備品の使用を控え、個人の物品を使用する

キャンプ場

- － 手の消毒剤を常時携帯し、物を触った後に使用する
- － 家族や友人の間でも、コップや皿は一人ずつ分けて使う
- － 管理事務所・売店・流し台・トイレ・シャワールームなどの共用施設を利用する際はマスクを着用する
- － テントを設置する際、他のテントとの間隔を保つ
- － テントやキャンピングカーなど室内は随時換気する

【事業者】

ホテル・コンドミニアムなどの宿泊施設

- － チェックインの際、体温チェックと呼吸器症状の有無を確認し、チェックアウト後の客室清掃はすぐに消毒する
- － 宿泊客の動線(駐車場・フロント－エレベーター－廊下－客室)は重点的に消毒する
- － サウナ・プール等の施設の利用人数を制限し、防疫・管理を徹底する
- － タオル・バスローブ等の施設備品の提供を控える

キャンプ場

- － テント設置の間隔を保つ（2m以上）
- － 売店・流し台・トイレ・シャワールーム等の共用施設を随時消毒・点検する
- － キャンプ場内での団体行事や集会を禁止する